

**製品名:** リン酸化 4E-BP1 (Ser65) マウスモノクローナル抗体**カタログ番号:** AMM81828

研究使用のみ

**概要**

|        |   |
|--------|---|
| 説明     | マウスモノクローナル抗体                                      |
| 宿主     | ねずみ   |
| 応用     | IHC,ICC,ELISA,FC                                  |
| 反応性    | 人間  |
| 標識     | 非共役   |
| 修飾     | リン酸化  |
| アイソタイプ | Mouse IgG1  |
| クローン性  | モノクローナル   |
| 形態     | 液体  |
| 濃度     | 1mg/ml  |
| 保存     | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送     | 氷袋  |
| バッファー  | 0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体                       |
| 精製     | アフィニティー精製   |

**応用**

|      |  |
|------|--|
| 希釈倍率 | IHC 1:200-1:1000,ICC 1:100-1:500,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400 |
| 分子量  | 12.6kDa  |

**抗原情報**

|              |                                       |
|--------------|---------------------------------------|
| 遺伝子名         | 4E-BP1                                |
| 別名           | EIF4EBP1; BP-1; 4EBP1; 4E-BP1; PHAS-I |
| 遺伝子 ID       | 1978.0                                |
| SwissProt ID | Q13541                                |
| 免疫原          | ヒト Phospho-4E-BP1 (Ser65) の合成ペプチド。    |

**背景**

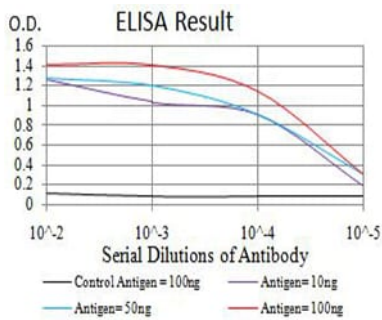
この遺伝子は、翻訳抑制タンパク質ファミリーの一員をコードしています。このタンパク質は、真核生物翻訳開始因子 4E (eIF4E) と直接相互作用します。eIF4E は、40S リボソームサブユニットを mRNA の 5'末端にリクルートする多サブユニット複合体の制限因子

です。このタンパク質と eIF4E の相互作用は、複合体の組み立てを阻害し、翻訳を抑制します。このタンパク質は、紫外線照射やインスリンシグナル伝達などの様々なシグナルに応答してリン酸化され、eIF4E から解離して mRNA の翻訳を活性化します。

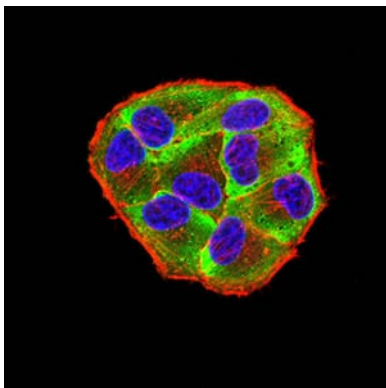
## 研究分野

PI3K-Akt シグナル伝達経路、mTOR シグナル伝達経路

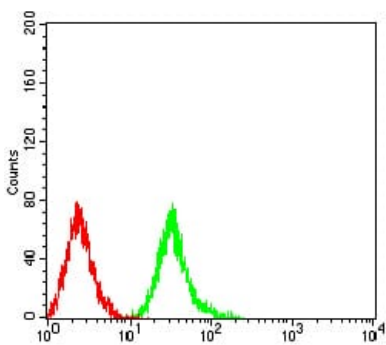
## 画像データ



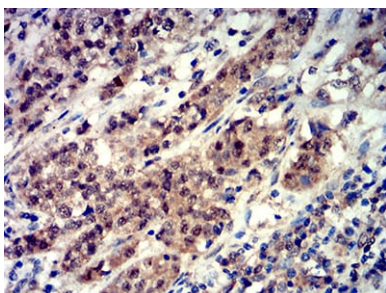
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



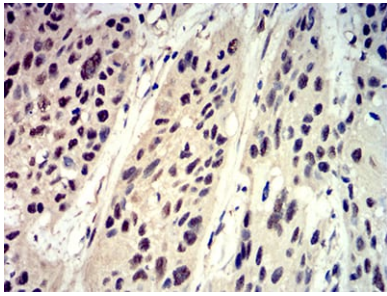
Phospho-4E-BP1 (Ser65) マウス mAb (緑) を用いた Hela 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



Phospho-4E-BP1 (Ser65) マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した Jurkat 細胞のフローサイトメトリー分析。



DAB 染色による Phospho-4E-BP1 (Ser65) マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト膀胱癌組織の免疫組織化学分析。



DAB 染色による Phospho-4E-BP1 (Ser65) マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト食道癌組織の免疫組織化学分析。